

令和5年度 全国学力・学習状況調査の調査結果について

生駒市立生駒南中学校

令和4年度、「全国学力・学習状況調査」を下記のとおり実施した。本校では、生徒たちの学力や学習状況を把握・分析し、学力向上や生活習慣等の改善につなげるため、平成19年度より本調査に参加している。

生徒の学習状況を把握・分析し、本校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるとともに、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立させていくことを目的に、この調査による生駒南中学校の調査結果について、以下のとおり取りまとめた。

【令和5年度 全国学力・学習状況調査】

【調査日】 令和5年4月18日（火）

【調査内容】

<教科に関する調査> 国語、算数・数学、英語

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

<学習状況調査>

児童生徒質問紙調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問）

学校質問紙調査（指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査）

【調査対象】 中学校3年生49名（受検者数）

【全国学力・学習状況調査結果】 ※各数値の値はすべて割合（％）で表している。

<教科に関する調査結果の概要>

【平均正答率】

- 国語は生駒市を-7%、奈良県を-2%、全国を-4.8%下回っている。

（本校 65%・生駒市 72%・奈良県 67%・全国 69.8%）

- 数学は生駒市を-9%、奈良県を-2%、全国を-3%下回っている。

（本校 48%・生駒市 57%・奈良県 50%・全国 51%）

- 英語は生駒市を-11%、奈良県を-3%、全国を-3.6%下回っている。

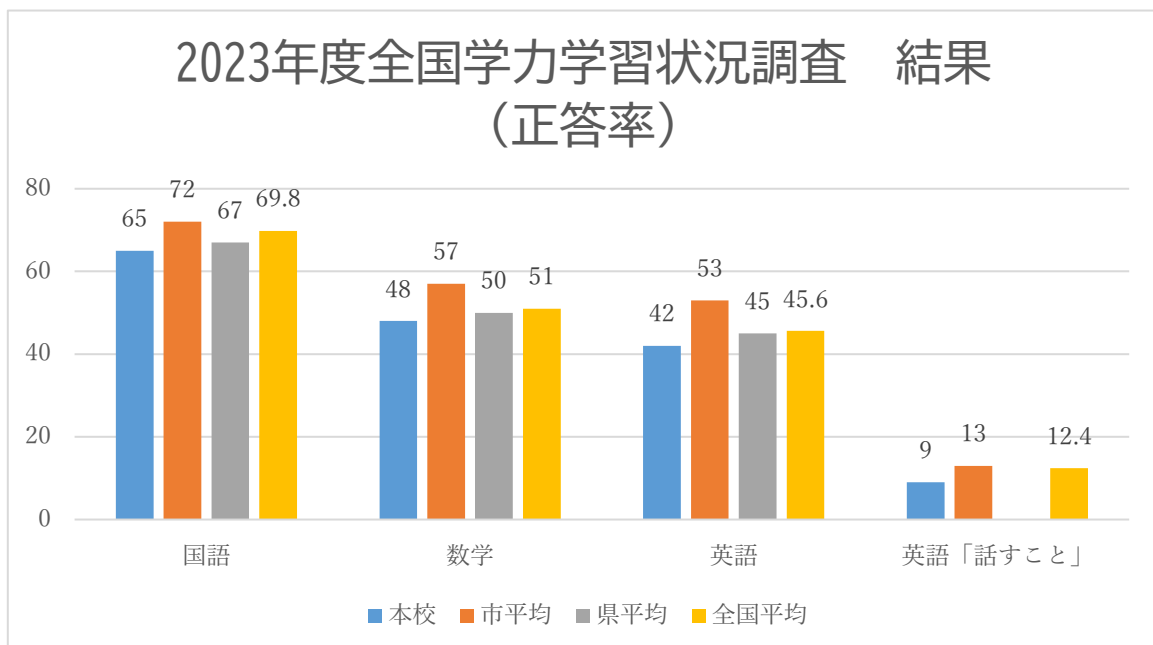
（本校 42%・生駒市 53%・奈良県 45%・全国 45.6%）

- 英語「話すこと」は生駒市を-4%、全国を-3.4%下回っている。

（本校 9%・生駒市 13%・奈良県一・全国 12.4%）

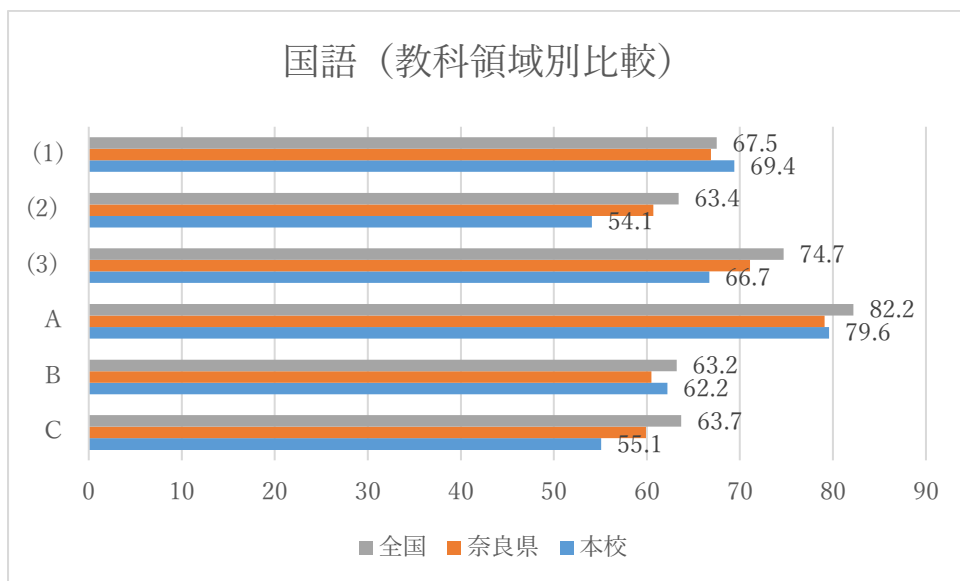
- 全科目において、生駒市、県、全国下回っている現状に課題がある。

	国語	数学	英語	英語「話すこと」
本校	65	48	42	9
市平均	72	57	53	13
県平均	67	50	45	-
全国平均	69.8	51	45.6	12.4

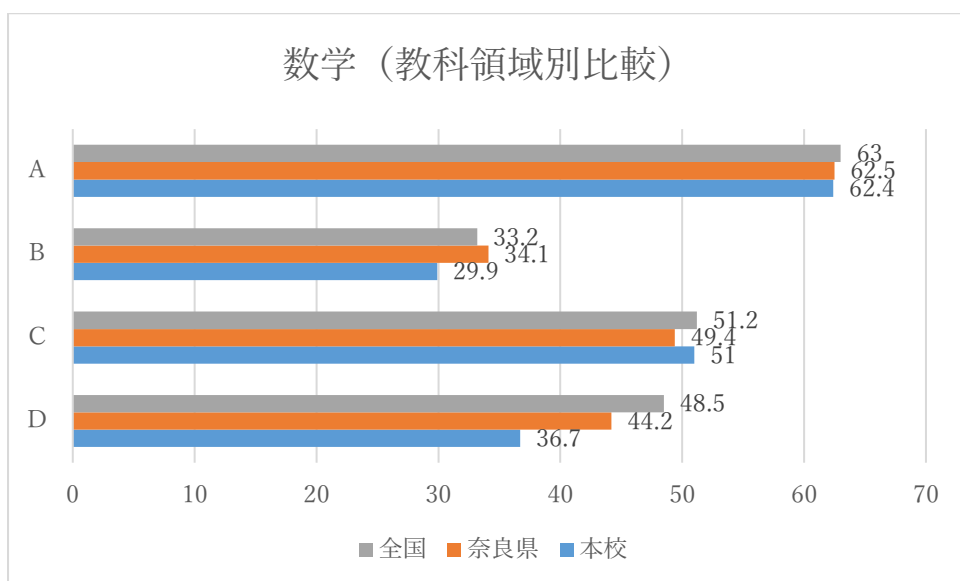


【領域別比較】

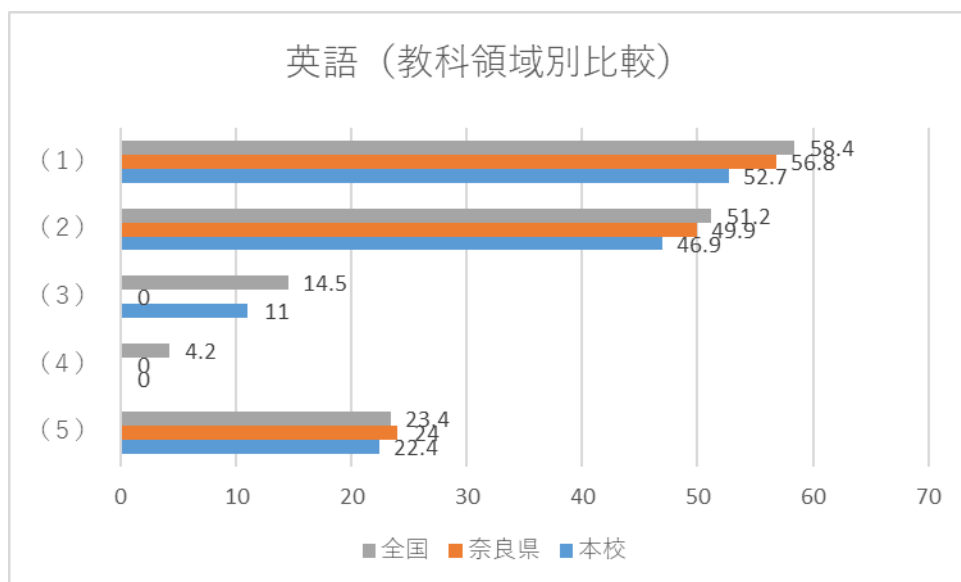
国語		本校	県	県との差	全国	全国との差
(1)	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	69.4	66.9	2.5	67.5	1.9
(2)	(2) 情報の扱い方に関する事項	54.1	60.7	-6.6	63.4	-9.3
(3)	(3) 我が国の言語文化に関する事項	66.7	71.1	-4.4	74.7	-8
A	A 話すこと・聞くこと	79.6	79.1	0.5	82.2	-2.6
B	B 書くこと	62.2	60.5	1.7	63.2	-1
C	C 読むこと	55.1	59.9	-4.8	63.7	-8.6



数学		本校	県	県との差	全国	全国との差
A	数と式	62.4	62.5	-0.1	63	-0.6
B	図形	29.9	34.1	-4.2	33.2	-3.3
C	関数	51	49.4	1.6	51.2	-0.2
D	データの活用	36.7	44.2	-7.5	48.5	-11.8



英語		本校	県	県との差	全国	全国との差
(1)	聞くこと	52.7	56.8	-4.1	58.4	-5.7
(2)	読むこと	46.9	49.9	-3	51.2	-4.3
(3)	話すこと [やり取り]	11		11	14.5	-3.5
(4)	話すこと [発表]	0		0	4.2	-4.2
(5)	書くこと	22.4	24	-1.6	23.4	-1



●国語に関して、奈良県と比較した場合、「(2) 情報の扱い方に関する事項」「(3) 我が国の言語文化に関する事項」「C 読むこと」の正答率が下回っており、全国と比較した場合は「(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項」以外の5領域が下回っている。奈良県と全国と重複し、下回っている「(2) 情報の扱い方に関する事項」「(3) 我が国の言語文化に関する事項」「C 読むこと」の領域が課題である。

●数学に関して、奈良県と比較した場合、「A 数と式」「B 図形」「D データの活用」の3領域が下回っている。全国と比較した場合は、すべての領域において下回っている。奈良県と全国と重複し、下回っている「A 数と式」「B 図形」「D データの活用」の3領域が課題である。

●英語に関して、本校の正答率が、「(1) 聞くこと」「(2) 読むこと」「(5) 書くこと」の正答率が下回っており、全国と比較した場合は「(4) 話すこと」以外の4領域が下回っている。奈良県と全国と重複し、下回っている「(1) 聞くこと」「(2) 読むこと」「(5) 書くこと」の領域が課題である。

【令和4年度 全国学力・学習状況調査結果のまとめ】

【調査日】 令和5年4月18日（火）

【調査の概要】

≪教科に関する調査≫ 国語 算数・数学 英語

- ①身に付けておかなければ後の学年等の内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

≪学習状況調査≫

児童生徒質問紙調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問）
学校質問紙調査

【調査対象】 中学校3年生49名（受検者数）

〈教科に関する調査結果の概要〉

- 今年度、本校の国語、数学、英語の平均正答率が生駒市、奈良県、全国を下回る結果となりました。
- 国語に関して、国語に関して、奈良県と比較した場合、「(2) 情報の扱い方に関する事項」「(3) 我が国の言語文化に関する事項」「C 読むこと」の正答率が下回っており、全国と比較した場合は「(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項」以外の5領域が下回っています。奈良県と全国と重複し、下回っている「(2) 情報の扱い方に関する事項」「(3) 我が国の言語文化に関する事項」「C 読むこと」の領域が課題となります。
- 今回の調査において「(2) 情報の扱い方に関する事項」では『判じ絵』とは何かと見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く」、「(3) 我が国の言語文化に関する事項」では「自分がこれからどのように本を読んでいきたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く」、「C 読むこと」では「現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く」に関する正答率が特に低くなっています。
- 「(2) 情報の扱い方に関する事項」に関しては「具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる」、「(3) 我が国の言語文化に関する事項」に関しては「文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる」、「C 読むこと」に関しては「文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる」問題であり、この部分に課題があると考えられます。

- 数学に関して、奈良県と比較した場合、「A 数と式」「B 図形」「D データの活用」の3領域が下回っています。全国と比較した場合は、すべての領域において下回っています。奈良県と全国と重複し、下回っている「A 数と式」「B 図形」「D データの活用」の3領域が課題となります。
- 今回の調査において、「A 数と式」では「はじめの数にける数がいくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する」、「B 図形」では「空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ」「二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く」、「D データの活用」では『2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある』と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する」に関する正答率が特に低くなっています。
- 「A 数と式」に関しては「結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる」、「B 図形」に関しては「空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる」「条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができるかどうかをみる」、「D データの活用」に関しては「複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる」問題であり、この部分に課題があると考えられます。
- 英語に関して、本校の正答率が、「(1) 聞くこと」「(2) 読むこと」「(5) 書くこと」の正答率が下回っており、全国と比較した場合は「(4) 話すこと」以外の4領域が下回っています。奈良県と全国と重複し、下回っている「(1) 聞くこと」「(2) 読むこと」「(5) 書くこと」の領域が課題となります。
- 今回の調査において、「(1) 聞くこと」では「バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する」、「(2) 読むこと」では「友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する」「図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する」、「(5) 書くこと」では「学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く」に関する正答率が特に低くなっています。
- 「(1) 聞くこと」に関しては「日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる」、「(2) 読むこと」に関しては「日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる」「日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる」、「(5) 書くこと」に関しては「日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる」問題であり、この部分に課題があると考えられます。

〈生徒質問紙調査の結果の概要〉

生活面について

- 95.9%の生徒が毎日朝食をきちんととることができていると回答しました。昨年度の数値と比較すると上昇傾向にあるので、今後もすべての生徒が朝食を毎日きちんととることができるように啓発や呼びかけをする必要があります。
- 81.7%の生徒が毎日同じくらいの時刻に寝て、93.9%の生徒が毎日同じくらいの時刻に起きていると回答していますが、本校では18.3%の生徒が不規則な時間に寝て、4.0%の生徒が不規則な時間に起きていると回答をしています。昨年度と比較すると、規則的な時間に就寝、起床することに関しては増加傾向であり、不規則な時間に就寝・起床することに関しては減少傾向にあるので、朝食等も含めた生活習慣の維持、向上に努めていかなければなりません。
- 昨年度にあった「普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。」という質問に関しては、質問項目から削除されてしまったため、割合を記載、市、県、全国と比較することができませんでした。しかし、今年度も引き続きスマートフォンやコンピューター機器の使い方やモラル、学習との両立等について確認していく必要があります。
- 「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。）」という質問に本校では55.1%の生徒が「全くしない」と回答しています。この割合に関して、昨年度と比較すると21.8%増加し、生駒市、奈良県、全国と比較すると、比較対象全てにおいて割合が上回っています。本校で「全くしない」と回答した生徒の数は非常に多く、一定数の生徒が平日に読書をしていないことがわかります。また、「普段（月曜日から金曜日）に30分以上読書をしている。」という生徒は昨年度からさらに減少し、10.2%です。平日の学習時間の長さや余暇に充てる時間が多く、そのことが読書時間に影響しているのではないかと考えられます。また、ゲーム等を長時間することが読書の時間に対して影響を与えている可能性もあります。国語の「読む力」を付けていくためにも、学校司書の協力を得ながら、引き続き読書活動を推奨し、読書を「全くしない」生徒が少しでも減少するように取組を継続していく必要があります。

考え方や行動について

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」という質問に本校では97.9%の生徒が肯定的な回答をしています。引き続き、平成29年2月に策定された「生駒市いじめ防止基本方針」に沿って、何がいじめにあたるのか、どのような行為が人を傷つけてしまうのかを理解するとともに、人権教育部、道徳科、生徒指導部が連携を図り、いじめを許さない気持ちを育てていく指導を継続していく必要があります。
- 「人が困っているときは、進んで助けていますか。」という質問に87.8%の生徒が肯定的な回答をしています。この割合は生駒市、奈良県、全国を上回っています。新型コロナウイルス感染症の蔓延により、マスクを着け、人との距離を空ける生活様式の中で、他者に対する関心や接点が希薄になった影響を受けた中での増加となります。今後も継続して、社会の状況を踏まえても、周囲を見渡し、他者に対して関心を持つ大切さや、困っている人へ手を差し伸べようとする気持ちを育てる指導が必要であると考えます。
- 「自分には、よいところがあると思いますか。」という質問に本校では87.7%の生徒が肯定的な回答をしましたが、生駒市、奈良県、全国を上回っています。今後も自尊感情や自己肯定感を高めつつ、学年に応じて将来の夢や目標を持てるように、個々の生徒に応じた指導を継続していく必要があります。また、「将来の夢や目標を持っていますか。」という質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をした生徒の割合は本校では61.2%でした。こちらは生駒市、奈良県、全国を下回っています。自己肯定感を高めつつ、将

来の夢や目標を考える機会を増やすことが重要と考えます。

- 「今住んでいる地域の行事に参加している。」という質問に本校では61.2%の生徒が参加していると回答をしています。この値は生駒市、奈良県、全国の割合を大きく上回っています。地域の行事に参加しているという意識をより更に高めるためにも、今後も学校で取り組んでいる行事や地域連携（花いっぱい運動）、全校生徒による地域のクリーンアップ活動を継続して実施し、地域の方々との作業を通して意識づけをしていく必要があります。

学習について

- 「学校で、学級の友達（生徒）と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。」という質問に98%の生徒が週1回以上活用していると回答をしています。この割合は、生駒市、奈良県、全国を上回っています。ICT機器の普及により、授業での調べ学習やClassroomでのMeetを使った授業の展開、ロイロノート等を使った意見交換に活用されていることが分かります。また、より有効的なICT機器の活用の仕方について、主体的・対話的で深い学びにつながるように工夫していく必要があります。
- 「5年生まで（中学校は1、2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」という質問に本校では75.5%の生徒が肯定的な回答をしています。昨年度と比較すると増加傾向にあります。より多くの生徒が肯定的な回答ができるよう、個々の生徒に応じた働きかけをする必要があるととらえています。
- 「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。」という質問に本校では87.7%の生徒が肯定的な回答をしています。この値は、生駒市、奈良県、全国を大幅に上回っています。また、「5年生までに（中学校は1、2年生のとき）受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。」という質問には77.5%の生徒が肯定的な回答をしています。この値は、生駒市、奈良県、全国を上回っています。引き続き、多様な手法を検討しながら、話し合いや発表をする機会を設け、主体的・対話的で深い学びを推進していく必要があります。
- 「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。」という質問に本校では69.3%の生徒が1時間以上学習していると回答をしています。この値は生駒市、奈良県を下回り、全国を上回った値になっています。しかし、3時間以上と答えた生徒は20.4%とまだまだ低い値です。また、「30分より少ない」「まったくしない」と回答した生徒が16.3%います。
「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）。」という質問には57.2%の生徒が肯定的な回答をしています。この値は昨年度と比較すると現象傾向にあります。しかし、1日当たりの勉強時間の割合と、学習の計画についての割合に差が生まれています。普段から勉強時間を確保している生徒は多いですが、計画的に取り組んでいないと思われる生徒も一定数いることも分かります。単元ごとの学習目標や課題を提示する必要があります。

【児童生徒質問紙調査の選択項目】

<主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況>

- 33 学校で、学級の友達（生徒）と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使っていますか。
- 36 5年生までに（中学校は1、2年生のとき）受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。
- 37 5年生まで（中学校は1、2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。
- 40 学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。

<規範意識>

- 8 人が困っているときは、進んで助けていますか。
- 9 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

<自己有用感>

- 4 自分には、よいところがあると思いますか。
- 5 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- 7 将来の夢や目標を持っていますか。

<学習習慣>

- 16 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）。
- 17 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。
- 20 読書については、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、読書を全くしない生徒」
- 20 平日に30分以上読書をしますか。

<基本的な生活習慣等>

- 1 朝食を毎日食べていますか。
- 2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。
- 3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

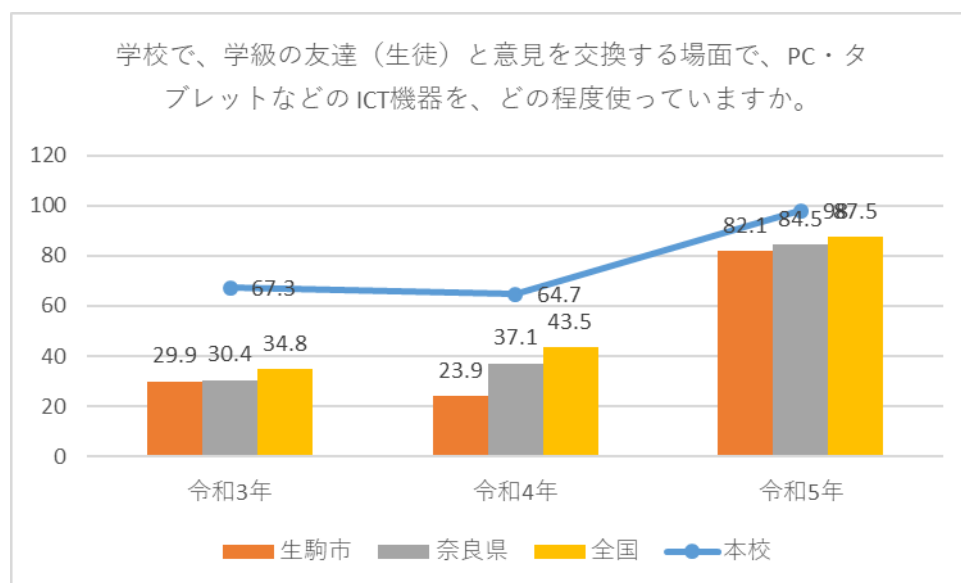
<地域や社会に関わる活動の実施状況等>

- 29 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

<主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況>

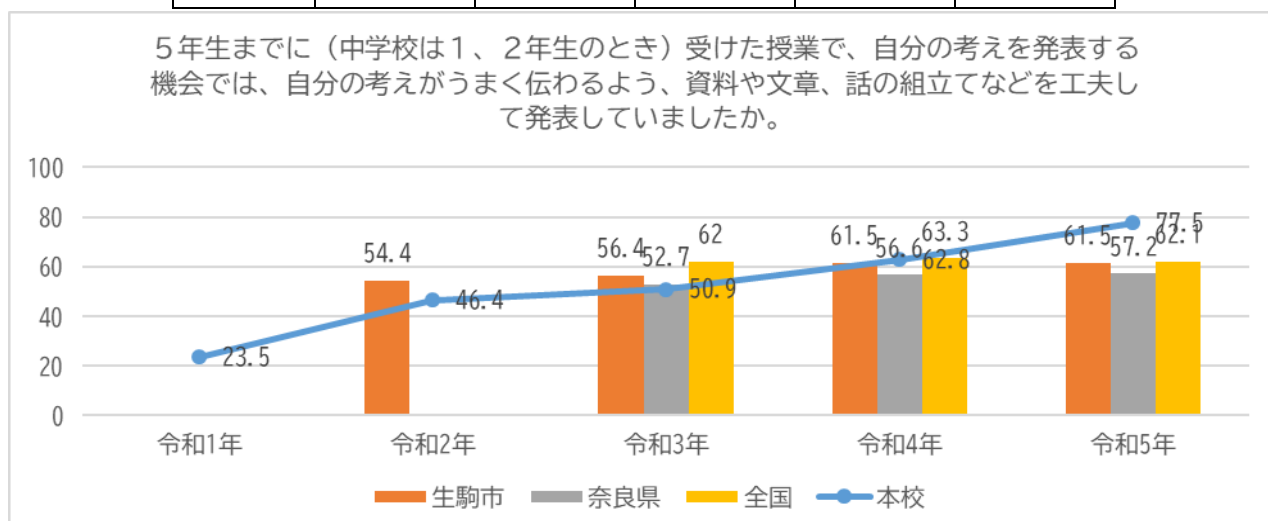
●33 学校で、学級の友達（生徒）と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使っていますか。」に「ほぼ毎日」「週 3 回以上」「週 1 回以上」と回答した生徒の割合は、昨年度と比較した場合、+33.3%、生駒市と比較した場合、+15.9%であった。

	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
本校	67.3	64.7	98
生駒市	29.9	23.9	82.1
奈良県	30.4	37.1	84.5
全国	34.8	43.5	87.5



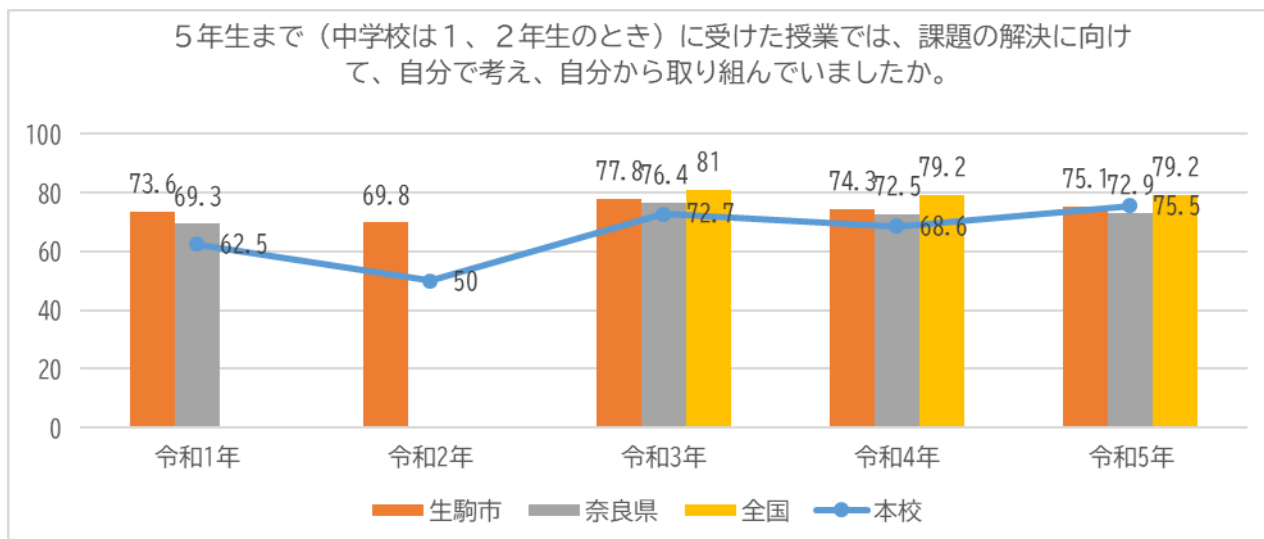
●36 「5年生までに（中学校は1、2年生のとき）受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。」に「発表していた」「どちらかといえば、発表していた」と回答した生徒の割合は、昨年度と比較した場合、+14.7%、生駒市と比較した場合、+16%であった。

	令和 1 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
本校	23.5	46.4	50.9	62.8	77.5
生駒市		54.4	56.4	61.5	61.5
奈良県			52.7	56.6	57.2
全国			62	63.3	62.1



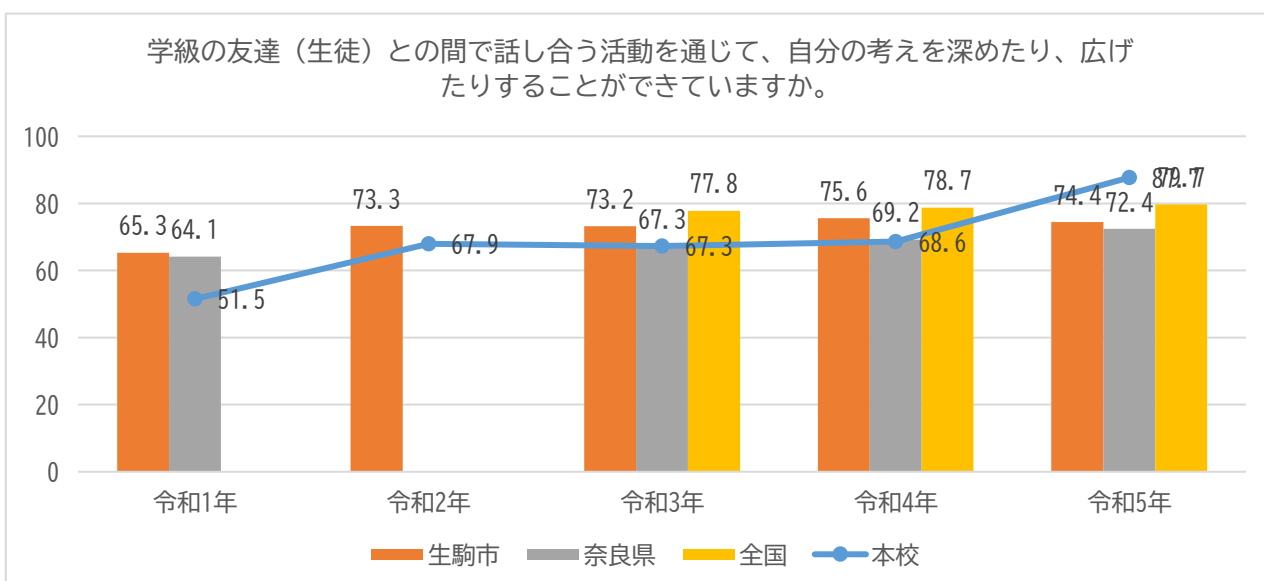
●37「5年生まで（中学校は1、2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合は、昨年度と比較した場合、+6.9%、生駒市と比較した場合、+0.4%であった。

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
本校	62.5	50	72.7	68.6	75.5
生駒市	73.6	69.8	77.8	74.3	75.1
奈良県	69.3		76.4	72.5	72.9
全国			81	79.2	79.2



●40「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合は、昨年度と比較した場合、+19.1%、生駒市と比較した場合、+13.3%であった。

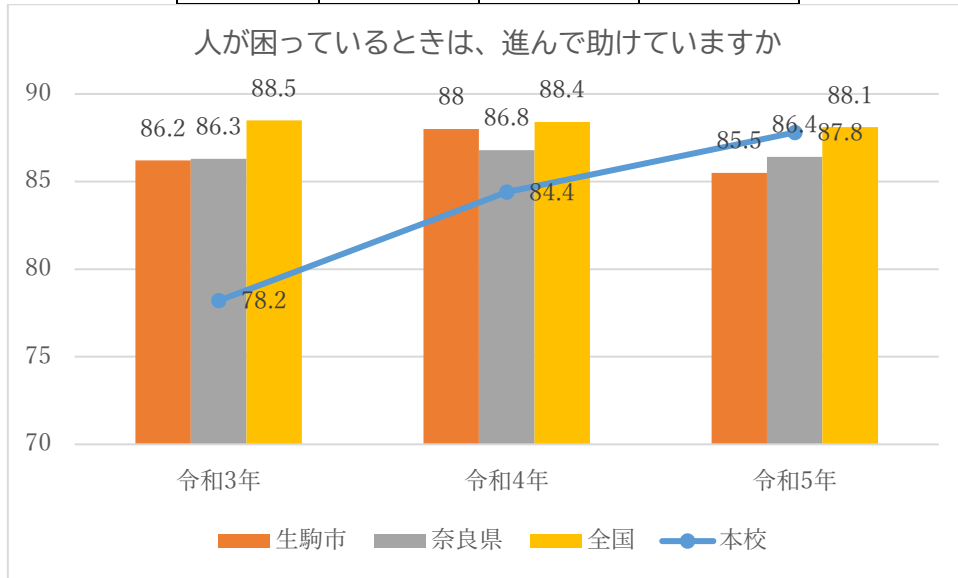
	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
本校	51.5	67.9	67.3	68.6	87.7
生駒市	65.3	73.3	73.2	75.6	74.4
奈良県	64.1		67.3	69.2	72.4
全国			77.8	78.7	79.7



<規範意識>

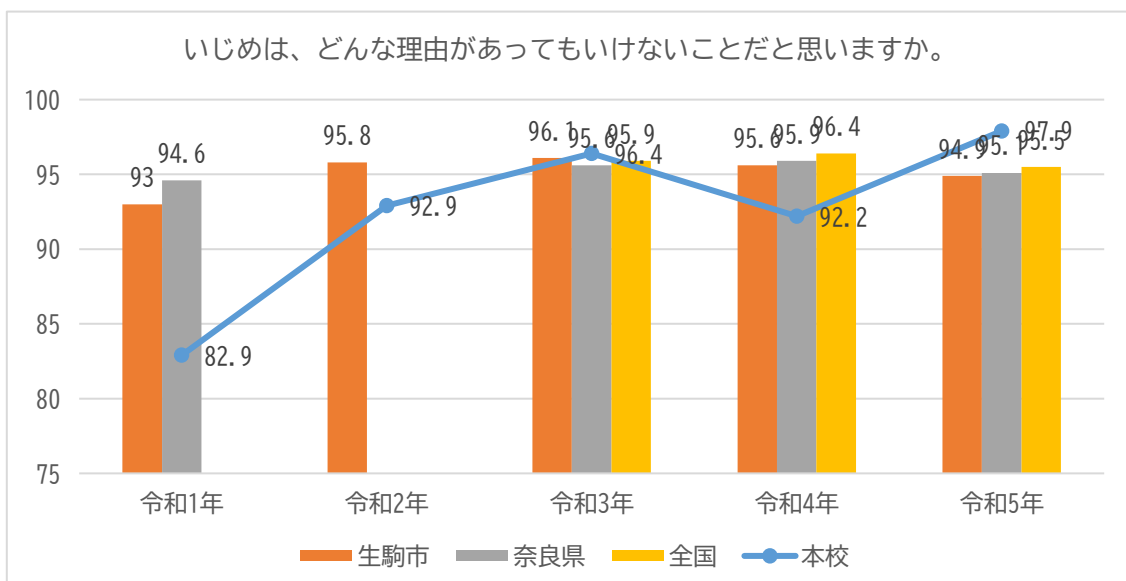
●8「人が困っているときは、進んで助けていますか。」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合は、昨年度と比較した場合、+3.4%、生駒市と比較した場合、+2.3%であった。

	令和3年	令和4年	令和5年
本校	78.2	84.4	87.8
生駒市	86.2	88	85.5
奈良県	86.3	86.8	86.4
全国	88.5	88.4	88.1



●9「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」に「当てはまる」と回答した生徒の割合は、昨年度と比較した場合、+5.7%、生駒市と比較した場合、+3%であった。

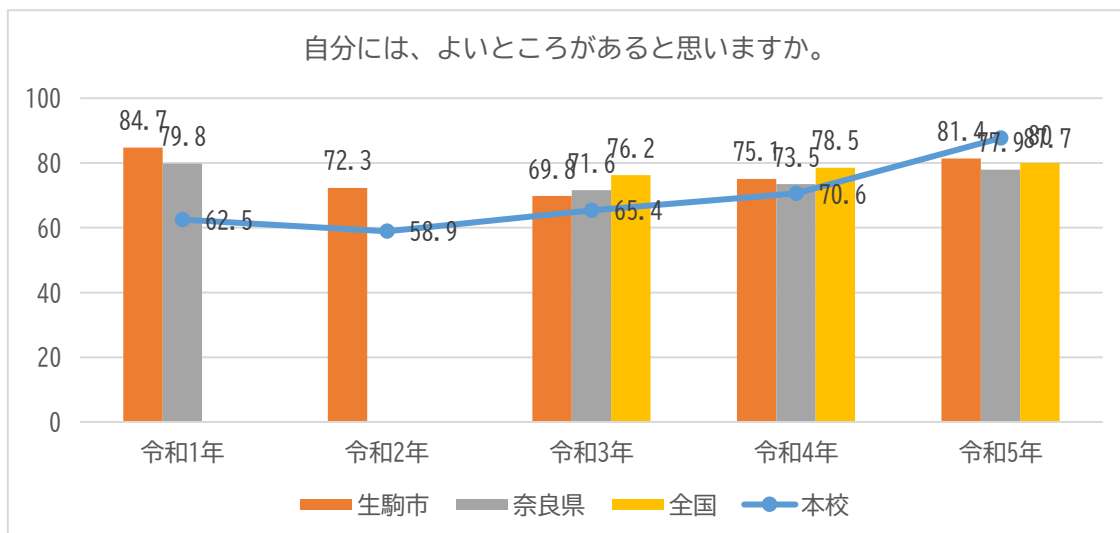
	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
本校	82.9	92.9	96.4	92.2	97.9
生駒市	93	95.8	96.1	95.6	94.9
奈良県	94.6		95.6	95.9	95.1
全国			95.9	96.4	95.5



<自己有用感>

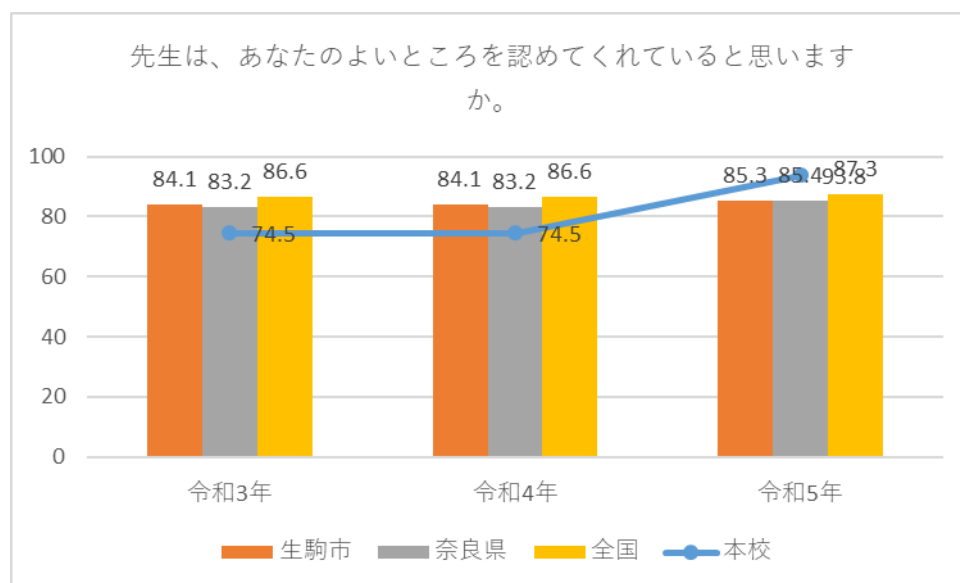
●4「自分には、よいところがあると思いますか。」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合は、昨年度と比較した場合、+17.1%、生駒市と比較した場合、+6.3%であった。

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
本校	62.5	58.9	65.4	70.6	87.7
生駒市	84.7	72.3	69.8	75.1	81.4
奈良県	79.8		71.6	73.5	77.9
全国			76.2	78.5	80



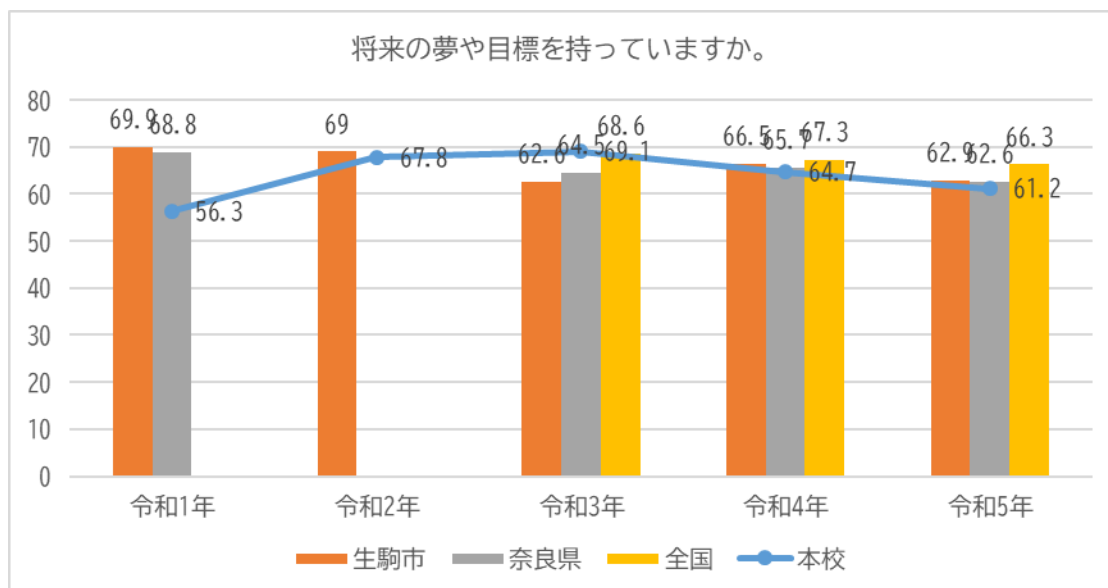
●5「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合は、昨年度と比較した場合、+19.3%、生駒市と比較した場合、+8.5%であった。

	令和3年	令和4年	令和5年
本校	74.5	74.5	93.8
生駒市	84.1	84.1	85.3
奈良県	83.2	83.2	85.4
全国	86.6	86.6	87.3



●7「将来の夢や目標を持っていますか。」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合は、昨年度と比較した場合、-3.5%、生駒市と比較した場合、-1.7%であった。

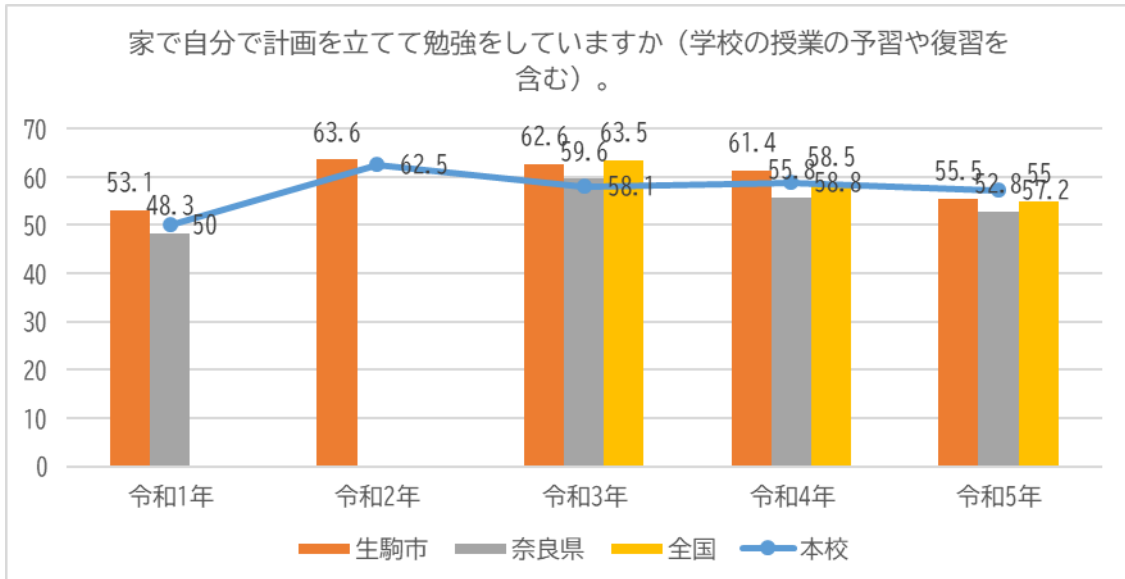
	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
本校	56.3	67.8	69.1	64.7	61.2
生駒市	69.9	69	62.6	66.5	62.9
奈良県	68.8		64.5	65.7	62.6
全国			68.6	67.3	66.3



<学習習慣>

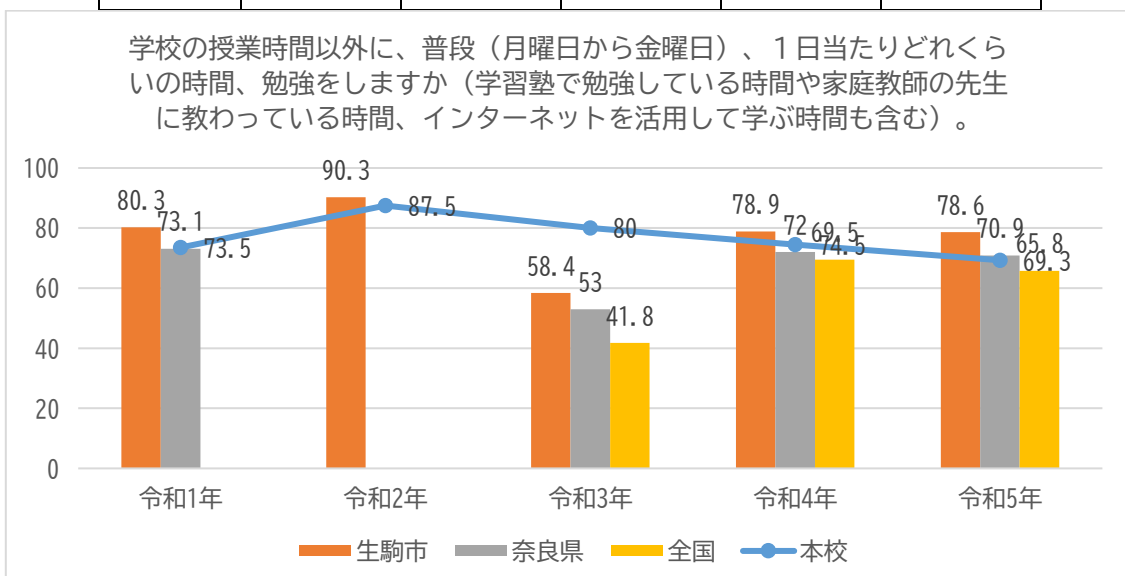
●16「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）」と回答した生徒の割合は、昨年度と比較した場合、-1.6%、生駒市と比較した場合、+1.7%であった。

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
本校	50	62.5	58.1	58.8	57.2
生駒市	53.1	63.6	62.6	61.4	55.5
奈良県	48.3		59.6	55.8	52.8
全国			63.5	58.5	55



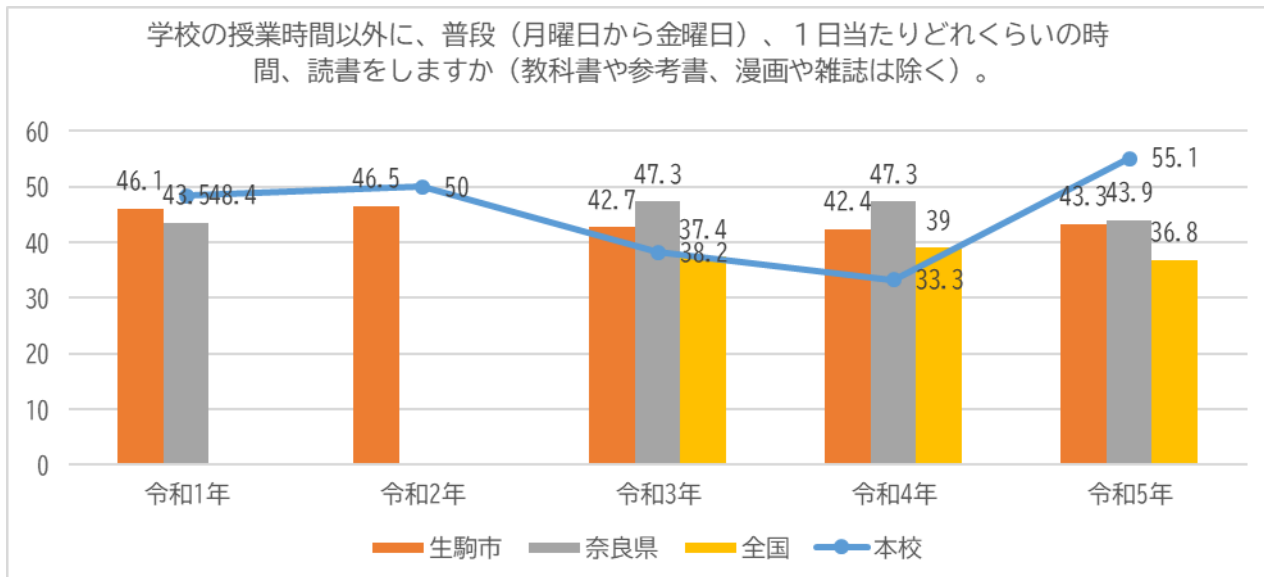
●17「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」に「1時間以上」と回答した生徒の割合は、昨年度と比較した場合、-5.2%、生駒市と比較した場合、-9.3%であった。

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
本校	73.5	87.5	80	74.5	69.3
生駒市	80.3	90.3	58.4	78.9	78.6
奈良県	73.1		53	72	70.9
全国			41.8	69.5	65.8



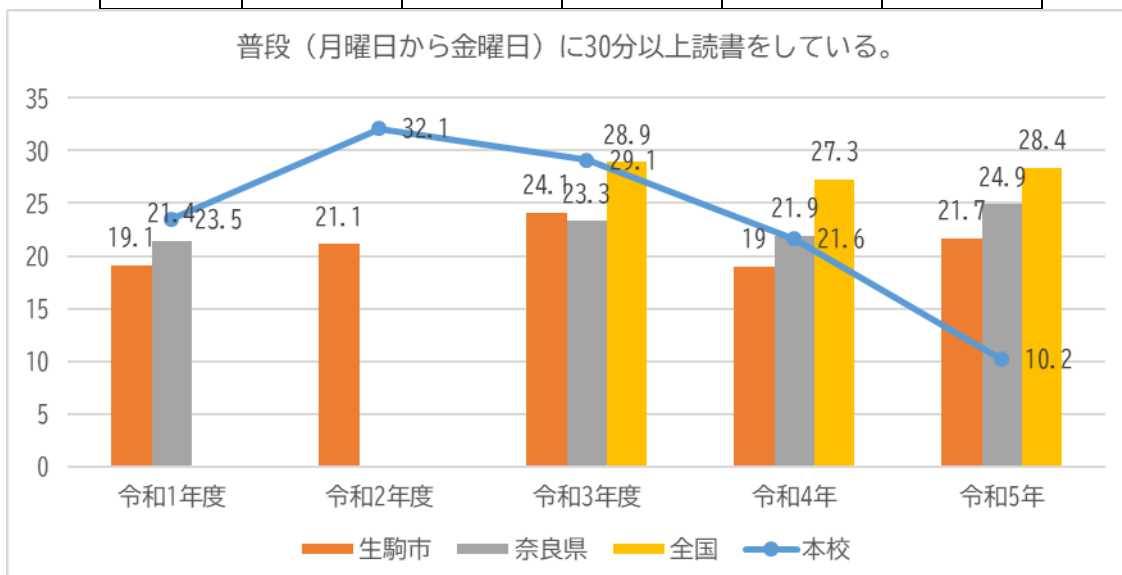
●20 「平日に 30 分以上読書を読みますか。」に「全くしない」と回答した生徒の割合は、昨年度と比較した場合、+21.8%、生駒市と比較した場合、+11.8%であった。

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
本校	48.4	50	38.2	33.3	55.1
生駒市	46.1	46.5	42.7	42.4	43.3
奈良県	43.5		47.3	47.3	43.9
全国			37.4	39	36.8



●20 「平日に 30 分以上読書を読みますか。」と答えた生徒の割合は、昨年度と比較した場合、-11.4%、生駒市と比較した場合、-11.5%であった。

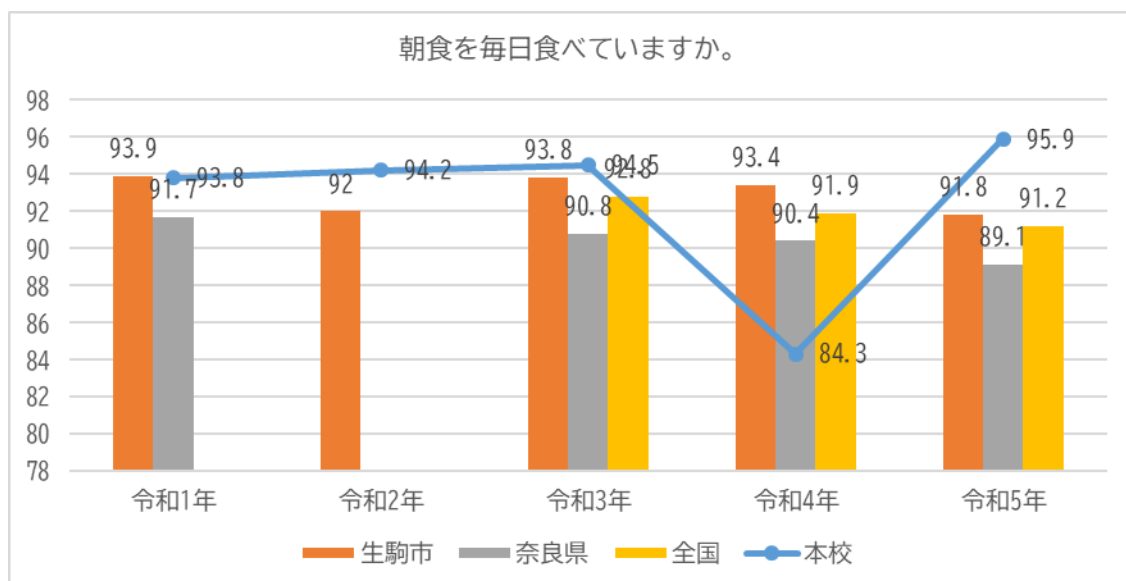
	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
本校	23.5	32.1	29.1	21.6	10.2
生駒市	19.1	21.1	24.1	19	21.7
奈良県	21.4		23.3	21.9	24.9
全国			28.9	27.3	28.4



<基本的生活習慣等>

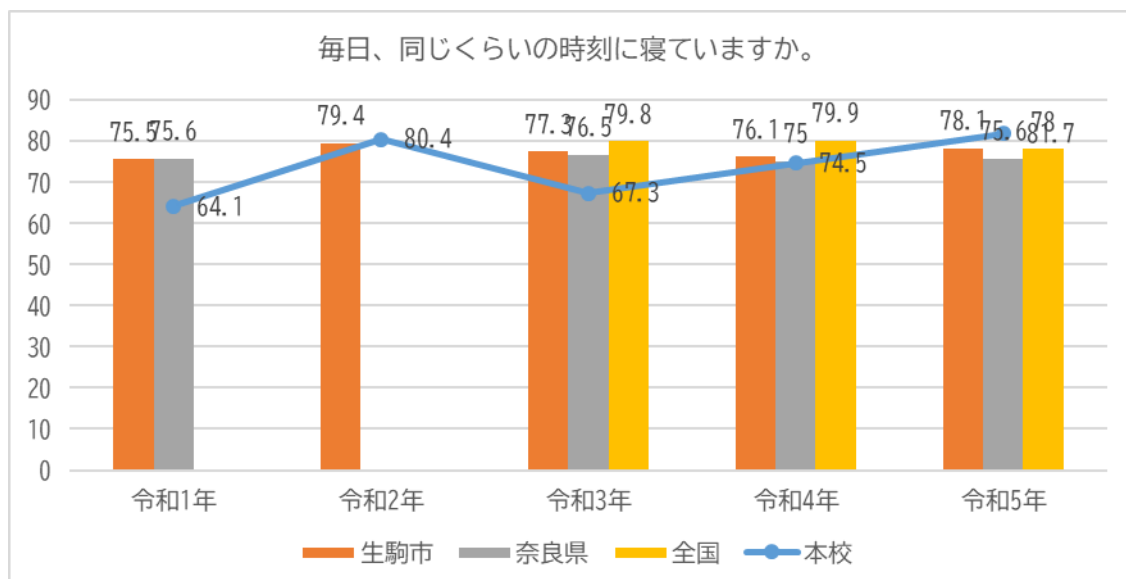
●1「朝食を毎日食べていますか。」に「している」「どちらかといえば、している」と回答した生徒の割合は、昨年度と比較した場合、+11.6%、生駒市と比較した場合、+4.1%であった。

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
本校	93.8	94.2	94.5	84.3	95.9
生駒市	93.9	92	93.8	93.4	91.8
奈良県	91.7		90.8	90.4	89.1
全国			92.8	91.9	91.2



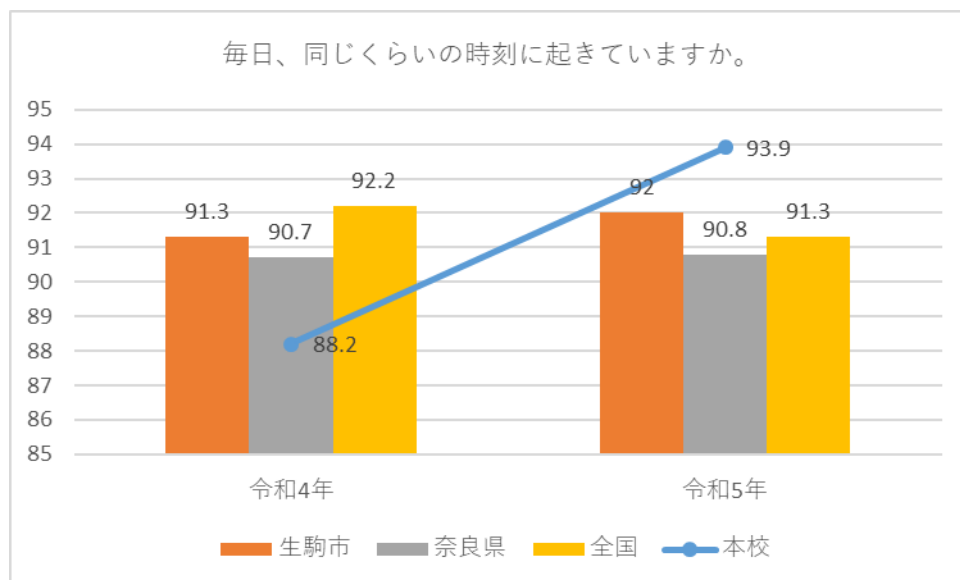
●2「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」に「している」「どちらかといえば、している」と回答した生徒の割合は、昨年度と比較した場合、+7.2%、生駒市と比較した場合、+3.6%であった。

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
本校	64.1	80.4	67.3	74.5	81.7
生駒市	75.5	79.4	77.3	76.1	78.1
奈良県	75.6		76.5	75	75.6
全国			79.8	79.9	78



●3「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。」に「している」「どちらかといえば、している」と回答した生徒の割合は、昨年度と比較した場合、+5.7%、生駒市と比較した場合、+1.9%であった。

	令和4年	令和5年
本校	88.2	93.9
生駒市	91.3	92
奈良県	90.7	90.8
全国	92.2	91.3



<地域や社会に関わる活動の実施状況等>

●29「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合は、昨年度と比較した場合、+18.1%、生駒市と比較した場合、+24.6%であった。

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
本校	43.8	42.9	34.6	43.1	61.2
生駒市	51	40.9	43.4	42.2	36.6
奈良県	46.1		39	35.3	32.5
全国			43.7	40	38

